

町政一般質問通告一覧表

令和元年12月定例会

令和元年12月17日

番号	質問事項 (件名)	質問の要旨	質問の相手	議席番号 氏名	
1	一般質問の「その後」について	<p>これまで、一般質問でいくつかの懸案事項について伺ってきたが、その後の検討結果と、今後取り組むべき事案について伺いたい。</p> <p>① 文化会館前の駐車場は適正な管理がなされていない。一部は、佐々町営駐車場として位置づけされているが、管理規定に沿った管理をすべきと思うが、見解を伺いたい。</p> <p>② フリーゲートの設置は、駐車場全体のあり方を見直して検討するとのことであったが、その後の検討結果を伺いたい。</p> <p>③ 公用車は管理上からも専用駐車スペースを設けることが好ましいと思われるが、その後の検討結果は。また、駐車場利用条件などを記した看板設置についても併せて伺いたい。</p> <p>④ 地域防災力強化に関連し、機能別消防団組織の結成について、その後の検討結果を伺いたい。</p> <p>⑤ 耐震強度が満たしていない4分団と5分団は建て替えを示唆されてたが、その後の方針を伺いたい。</p> <p>⑥ 消防団装備基準に基づく、分団詰め所へのAED配備について、方針を伺いたい。</p> <p>⑦ 国土強靱化地域計画の策定状況について、伺いたい。</p> <p>⑧ 農業体験施設の青空広場横のトイレ改修について、その後の検討結果を伺いたい。また、併せてトイレ横の陥没した箇所と台風被害によるハウスの改修について、どのような考えか伺いたい。</p>	町長	8番 平田 康範 (一問一答)	
2	<p>① 小・中学校給食施設整備に係る住民説明会開催の進捗状況は</p> <p>② 公園施設新設などを行う場合住民の意見交換などは行っているのですか</p> <p>③ 今年の8月・9月における想定外の大雨がもたらした今後の本町河川対策は</p>	<p>11月13日(水)19時、北部体育館にて5町内会(市瀬・鴨川・松瀬・北・若佐町内会)の皆さんに、北部運動公園敷地を活用して3校の学校給食施設をひとつに統合し、「センター方式」による給食施設整備を建設候補地として提案、北部運動公園の検討をしているとの説明会を開催。多くの反対意見が出たが、その後における経過は。</p> <p>現在、平成29年度より公園施設長寿命化(皿山公園)の事業計画は、令和2年完成を目指しておこなわれていますが、パブリックコメントなどは実施されているのですか。多額の予算支出をとまなう事業、また、住民の憩いの場となる施設はもっと住民目線にて計画を立てる必要性があるのでは。公園施設全体は無理ですが、小規模な休憩所&トイレなどのデザインを町民に一般公募してはいかがなものでしょうか。それにより、町民参加型の理想的な町づくりの一環につながるのでは。</p> <p>国の調査によると、河川の水位がいつ氾濫してもおかしくない「氾濫危険水位」を超える事例が、全国で474件に達し、そのうち3割近い136件を九州7県が占めていたとのことがわかった。水位超過はこの数年で顕著に増加しており、都道府県が管理する河川での発生が大半を占めている。台風の強大化や豪雨の頻発が背景にあるとみられ、国交省は気候変動を見据えた治水対策の検討をしているが、本町の治水対策はどのように考えておられるのか。</p>	教育長	町長	4番 長谷川 忠 (一問一答)
			町長		

番号	質問事項 (件名)	質問の要旨	質問の相手	議席番号 氏名
3	国土強靱化地域計画と佐々川氾濫等の災害の想定について	・9月定例会で質問した8月27日～29日の大雨への対応に続き、10月11日～13日の台風19号により関東甲信越地域が豪雨となり、1級河川の氾濫や堤防決壊による死者・行方不明者(102人)及び負傷者(481人)の甚大な被害をもたらした。県は国土強靱化地域計画をH27年に策定、H29年12月に改訂され策定済である。県の指導のもと佐々町はR2年3月策定予定とのことであるが、佐々川の氾濫と堤防決壊について、どのような認識なのかお尋ねしたい。	町長	2番 浜野 亘 (一問一答)
	庁舎建設基本計画や地域福祉計画等の策定業務委託について	・役場庁舎建設基本計画や地域福祉計画について、計画書作成の現状報告を受けたが、専門性を必要とする内容が少ないと感じた。いろんな角度から専門家等の意見を基に検討すべきなのに、庁舎建設に係る計画策定委員の方や職員が想定できることの内容であるならば、業務を委託する必要はないのではないか。今後も佐々町総合計画等の改訂や策定があるようなので、税金の無駄使いにならないよう、今後についてお尋ねしたい。	町長	
	スポーツの振興と学校行事との関係性について	・今年度から毎月第3日曜の「家庭の日」は励行強化された。私は体育やスポーツの振興により活気ある町になると信じている。11月9日～10日は第70回長崎県民体育大会が開催された。私が知る限り11月第2土・日曜に開催され、40年間は変わらないと思う。保護者や先生が県体選手であっても、小学校の学習発表会を優先される方が多いので、学習発表会の期日変更を何度もお願いされたと存じている。検討はされたと思うが、なかなか変更していただけないので、なぜ出来ないのかお尋ねしたい。	教育長	
	観光協会の「市瀬川ホテル再生プロジェクト」について	・皿山公園には「ほたるのくに」があるが、何年も小川の水は枯れたままである。今般、観光協会と市瀬町内の有志の方々は「市瀬川にホテルを再生を」ということで活動を開始された。それで、カワニナや蛍の生育・観察と学習発表ができるように、持続性と特色ある小学校のクラブ活動で出来ないかと思っているが、取り組みの是非についての考えをお尋ねしたい。	町長 教育長	
4	1 「町内循環バス」について	① 「循環バス」について、地域福祉計画素案では具体的なことが書かれていないが、実施のめどはいつ頃を想定しているのか。	町長 担当課長	3番 永田 勝美 (一問一答)
		② 町外への通院支援など、路線バス利用にかかる支援をどのように考えているのか。		
	2 保育園の給食(副食)費負担について	① 本年10月から行われている「給食費自己負担分」の徴収実態はどのようになっているか。	町長 担当課長	
		② これまで、保育料滞納世帯の子どもにも給食は提供されてきたと承知しているが、今後は給食費を滞納した子どもにも給食は提供されるのか。		
③ 報道によれば県内では6つの自治体で無償化することを検討しているが、子育て応援という角度からも佐々町では無償化を実施する考えはないのか。				
3 国保制度の改善に向けて	④ 佐々町で給食費無償化を実施した場合、財政負担はどの程度となるのか。	町長 担当課長		
	① 生まれたときから課税される国保均等割の減免について。			
		② 「資格証明書・短期保険証」発行の現状と対策。「44条減免」(窓口一部負担減免)の周知、活用について。		

番号	質問事項 (件名)	質問の要旨	質問の相手	議席番号 氏名
4	4 町政の基本姿勢について	① 町長は町立保育所の民営化を公言したが、なぜ民営化するのか。そのメリットとデメリットをどう考えているのか。	町長	3 番 永田 勝美 (一問一答)
		② 学校給食のセンター化について。		
		③ IRカジノについて、原発稼働問題などについて。		
5	1 町長3期目の公約に対する実施度合いは	平成29年6月に佐々町町長として3期目を迎えられた、その公約として暮らし 仕事 自然 安心 充実を掲げられ、心地よい暮らしと共に楽しめる「自然と産業の街」をとなっていますが、公約に対する達成度はどのように感じておられるか。	町長	9 番 淡田 邦夫 (一問一答)
	2 佐々町全体として防災訓練をおこなっては	令和元年度は、全国各地において台風 大雨被害が多発した年で佐々町においても災害がいつくるかもしれない状況で、佐々町町民参加で防災訓練を行ってはどうか。また、町長は3期目の公約として まちの防災力を高め、被害を最小限にとどめるとなっている。	町長 担当課長	
	3 農業体験施設の使用状況はどのように	農業体験施設を有効活用するための施策をどのように計画しているのか。	町長	
6	維持管理について	○ 佐々町には、多くの樹木、植物が植えられています。今から冬を越し春に花を咲かせるのが大半です。そこで、これから、その管理をどうされていくのかお聞かせください。 ○ 町道の維持管理については、日ごろから努力をされていることと思います。私も定期的に巡回をしておりますが、昨年と比べて、草刈りも良くされていますし、道路についても大体管理されているようですが、道路側溝については、側溝の詰まりから路肩が崩れかけたところが見られます。これは大きな災害につながる恐れがあります。その道路維持管理について、年間計画などあれば、お示しください。	町長	7 番 橋本 義雄 (一問一答)
	通り抜けのできない道路の整備について	○ 通り抜けのできない道路について、何回か質問させていただきましたが、再度質問致します。災害時の避難道路として、又緊急時の道路として必要不可欠と思われるところが有ります。安全安心な生活道路として、住民の要望をくみ取することはできないのかお尋ねいたします。	町長	
	農産物のブランド化について	○ 第6次佐々町総合計画・後期計画の中に、農業の担い手を確保していくために、認定農業者などの生産能力の高い後継者の育成・支援を進めていくことが求められています。又、農業者所得アップの為、町の特性を見極め、主要作物等のブランド品の選定や販売推進の方法を検討し、今後の方向性を見極めることも必要です。とありますが、どう検討されたのかお聞かせください。	町長	
	福祉バスについて	○ 議員研修において、四国中央市のデマンドタクシー、新宮町内運行福祉バスについて研修を受けた中で私としては、新宮町内運行福祉バスについて、佐々町としても、これから高齢者が多くなり、山間地域のことを考えると、今のタクシー初乗りチケットでは生活交通の確保は、出来ないと思う。予算的にもそんなにかかるものではなく、この福祉バス事業は、ほかのところにもあると思うので、資料を取り寄せ、検討してみたらどうか。	町長	